

令和3年度 事業報告

〈令和3年度西区社会福祉協議会の取組〉

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、時として地域活動の休止や縮小を余儀なくされました。しかしながら、このような状況でも、「新しい生活様式」を取り入れ、「今できる形の活動」として創意工夫しながら活動を再開した地域の団体やボランティア活動グループ、人と人とのつながりを途絶えることなく活動を継続していた近隣での見守り活動など、コロナ禍においても必要な活動を知る一年となりました。また、人と人との繋がりが薄れていく中、生活に関する不安や長期化する自粛生活等から困りごとが声として上がるようになり、これまでは見えてこなかった課題が表面化してきています。

西区社協では、この顕在化した区内の生活課題を捉えるとともに、地域で取り組まれている見守り活動や支えあい活動の在り方を検討し、生活支援体制整備事業や生活困窮者への対応等に積極的に取り組みました。

各分科会の開催や研修会、講演会等につきましても感染拡大防止のためオンラインで開催するなど、情報の発信に努めました。区社協の強みを活かし、各分科会を通じて共通課題での検討や第4期地域福祉保健計画の本格的なスタートに向けて検討しました。

I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援（重点項目）

1 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザとともに、「誰もが住み慣れた地域で生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体が連携・協力した地域づくり」を目指しました。

(1) 第2層生活支援コーディネーターとの連携及び支援

①西区生活支援コーディネーター連絡会の開催

多様な主体が連携・協力した地域づくりを推進するため、連絡会を開催し、区域での連携した地域づくりに向けた取組の検討や情報交換を行いました。

開催数：全12回／毎月1回 原則第2水曜日

参加者：第2層生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）、第1層生活支援コーディネーター（区社協）、区役所職員（体制整備事業担当）

月日・場所	内容	参加者数
4月20日(火) 戸部本町地域ケアプラザ	・介護予防におけるICT活用について ・横浜市地域交通サポート事業について ・市生活支援体制整備事業推進会議(以下、市推進会議)報告 ・各地域ケアプラザの取組共有 他	11名
5月18日(火) 戸部本町地域ケアプラザ	・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・生活支援体制整備事業の啓発について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他	9名
6月21日(月) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・アドバイザー派遣について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他	8名

7月14日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・シニアクラブとの連携について ・神奈川大学との連携について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	8名
8月19日(木) 戸部本町地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブとの連携について ・生活支援体制整備事業の啓発について ・Ayamu の一般公開について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	10名
8月20日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備事業啓発事業「啓発動画作成」検討会 *臨時開催 	6名
9月14日(火) 戸部本町地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備事業啓発事業「啓発動画作成」について ・神奈川大学との連携について ・介護予防ケアマネジメント研修について ・Ayamu の一般公開に向けて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	12名
10月11日(月) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・体制整備事業啓発事業「啓発動画作成」について ・Ayamu の一般公開に向けて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	9名
11月12日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・体制整備事業啓発動画「ハマでうわさの西区民」の活用について ・Ayamu の一般公開に向けて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	10名
12月17日(金) フクシア	<ul style="list-style-type: none"> ・Ayamu の一般公開に向けて ・サービス B 訪問型について ・アクションプランについて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	9名
1月20日(木) 区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり研修「個別支援」×「地域支援」振り返り ・Ayamu の一般公開に向けて ・サービス B 新規申請団体について ・各地域ケアプラザの取組共有 他 	9名
2月9日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の振り返り ・3年度連絡会テーマ「見守り・つながり」の検討 ・Ayamu の一般公開に向けて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	11名
3月9日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の取組の振り返りと4年度の取組の検討 ・移動販売実施状況について ・Ayamu の一般公開に向けて ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他 	11名

②研修の実施

スキルアップと、コーディネーター間の連携を目的に研修会を実施(参加)しました。

月日・場所	内容	参加職員
10月14日(木) 区役所	地域づくり人材養成研修「研修Ⅰ」 テーマ： 孤立を防ぐ地域づくりと地域と協働できる人材養成	6名

③第2層協議体等への出席・支援

各地域ケアプラザでの課題解決に向けた検討会や新たな資源開発に向けた協議体等に出席、支援しました。
12事業 のべ40回 開催

(2) 第1層生活支援コーディネーターの取り組みについて

①事業推進に向けた地域ケアプラザ・区役所との協働

以下の会議の運営に携わりました。また、各地域ケアプラザの当該年度取組の振り返りと、次年度計画・方針を確認し事業推進するため、2層生活支援コーディネーターおよび所長へのヒアリングを行いました。

1)区役所・区社協定例会の開催 6回

*区役所・区社協連絡会を9月で終了し、10月より「区版推進会議」を開催

2)区版推進会議の開催 5回 *内、書面開催1回

3)市版推進会議への出席 10回 *内、書面開催3回

4)第1層コーディネーター連絡会への出席 5回

5)各地域ケアプラザへのヒアリング 4地域ケアプラザ×年2回(中間振り返り、次年度計画)

②介護予防・生活支援サービス補助事業の支援

1)継続団体の支援

活動推進に向けて、運営団体と関係機関で情報共有会を開催しました。

月日・団体	内容	参加者
7月2日(金) ばあばの家あさだ	現状・課題の共有・今後の推進に向けて	ばあばの家あさだ、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区役所、区社協 計10名
12月3日(金) ばあばの家あさだ	取組状況の共有・今後の推進に向けて	ばあばの家あさだ、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区役所、区社協 計9名

2)新規団体の支援

相談数：1団体

相談内容：訪問型支援事業の申請

③地域アセスメントの取組

高齢者が参加可能な地域のサロンや趣味活動などの集いの場といった社会参加の場や、介護予防・健康づくりに取り組める場、移動販売やちょこっとボランティアといった生活支援サービスなど、区内の地域活動・地域資源を把握し、地域資源管理サービスソフト「Ayamu」等を活用して地域ケアプラザおよび区役所と共有しました。

④「ハマでうわさの西区民～Let's TRY!! 地域活動」動画制作・配信

生活支援体制整備事業を広く地域に周知し、社会参加のきっかけや新たな資源開発につなげるきっかけづくりとして、地域活動紹介動画を制作しました。

配信内容: 1. 動画制作の趣旨

2. 西区で地域活動をしている方15名にインタビュー

インタビュー I / ①どんな活動に参加していますか? ②参加のきっかけは?

③活動の魅力は?

インタビュー II / 西区の好きなところ・好きな場所は?

配信方法: YouTube(西区ホームページ/「西区における地域包括ケアシステムに構築」、および

西区紹介動画「#こしまろちゃんねる」に掲載)

配信期間: 令和3年11月15日～未定

主催: 区社協・区役所・区内4地域ケアプラザ



2 身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業の推進

全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議への参加や研修会の開催等を通じ、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて取り組みました。

(1) 個別ケースの発見と対応

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金、ボランティアセンター、送迎サービス、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により、困難を抱えた方の課題解決に向け取り組みました。また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に参加し、個別課題の把握を行いました。

①地域ケア会議への参加

(P6「4. 包括ケアシステムの推進支援 -(1)地域ケア会議への参加」参照)

②地域ケアプラザとの情報交換の実施

地域ケアプラザとの連携強化を目的に、区内4地域ケアプラザの包括カンファレンスや6職種会議などに参加し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。(各地域ケアプラザ月1回) *令和3年10月から

(2) 地域づくり研修の企画・開催

住民活動等の推進に向け、地域ケアプラザ・区社協・区役所の専門職が伴走支援のスキルを高めるとともに、各専門機関・職種が互いの役割を認識し、「個別支援」と「地域支援」の連携・融合に焦点をあてた学び合うことを目的に研修会を開催しました。

対象者: 地域ケアプラザ委託部門職員、西区役所職員(社会福祉士・保健師)、西区社協職員

月日・場所	内容	参加者
12月20日(月) 区役所	内容:「個別支援」×「地域支援」 ～つながりの先にあるもの～ 講師: 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授 渡辺裕一氏	地域ケアプラザ16名 区役所10名 区社協6名 計32名

3 地区社協活動の推進支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を發揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、助成を行いました。

(1) 地区社協活動の運営・活動支援

①地区社協研修の実施

1)地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、次の研修を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
10月6日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	地区社協新任役員研修 地区社協で新しく役職についた方を対象として、地区社協の役割や目的、区社協との関係などについて勉強会を実施	2名

2)第6回よこはま地域福祉フォーラム [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会で共催

月日・場所	内容	開催方法
12月3日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	テーマ：「変わりゆく日常でもよりそえるまちへ」 ～つながり再始動(リスタート)～ 【全体会】 基調講演：「つながり続ける地域づくりのために」 講師：室田 信一 氏（東京都立大学 准教授） 【分科会】 第1分科会：このまちでつながりつづける 第2分科会：ひとりに寄り添う、想いを紡ぐ	オンライン 配信

3)にこまち講座への参加

区との共催講座(西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)にかかる講座を地区社協研修と位置づけ、地区社協関係者に参加を依頼しました

月日・場所	内容	開催方法
10月13日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 区役所 生活創造空間にし	【講演会】 基調講演：「地域共生社会の実現に向けて」 講師：原田 正樹 氏（日本福祉大学 教授）	3会場にて オンライン 配信

※よこはまの地区社協全体会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした

②地区社協活動費の交付・助成

地区社協活動の充実に向け、安定した財源を確保するために助成金を交付しました。

<地区社協助成金>

項目	内容		財源
【活動運営費】	300 千円	6地区	市社協補助金 共同募金配分金 賛助会費還元金
	210 千円	6地区	
	400 千円	6地区	
【活動事業費】	1,390 千円	5地区	共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金
	90 千円	2地区	
	30 千円	1地区	
	18 千円	1地区	
【小地域活動応援金】	900 千円	6地区	福祉基金
【年末たすけあい募金配分】	600 千円	6地区	年末たすけあい募金助成配分

③地区アセスメントシートの活用

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有活用しました。

(2)地区社協分科会の開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。（詳細はP29-30）

4 地域包括ケアシステムの推進支援

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に参加し、個別課題の把握から地域課題の解決に向けた取組につながるよう、具体的な対応等について検討しました。

主催	月日	内容	参加者数
宮崎地域ケアプラザ	4月22日(木)	個別レベル地域ケア会議	15名
	10月22日(金)	個別レベル地域ケア会議	9名
	11月30日(火)	個別レベル地域ケア会議	10名
浅間台地域ケアプラザ	1月18日(火)	包括レベル地域ケア会議	9名
区役所	5月27日(木)	区レベル地域ケア会議 見守り部会準備会	19名
	3月(書面開催)	区レベル地域ケア会議 見守り部会	—

(2) 地域ケアプラザ との連携

①地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

月日・場所	内 容	人数
4月23日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	・今年度事業について ・自主事業／貸室のコロナ対応について ・各所管より情報提供	10名
5月28日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・西区子育て支援拠点「スマイル・ポート」と情報共有 ・自主事業／貸室のコロナ対応について ・にこまちプランについて	10名
6月26日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・生活介護事業所「&COCO」見学 ・合同事業／研修企画について ・にこまちプランについて	9名
7月30日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・自主事業／コロナ対応について ・ふれあい会研修企画について	9名
8月27日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・自主事業／貸室のコロナ対応について ・第4期にこまちプラン策定スケジュールについて ・コーディネーター研修について ・共同募金運動について	9名
9月24日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	・合同事業／研修企画について ・自主事業／貸室のコロナ対応について ・にこまちプラン策定スケジュールについて ・寄付物品情報提供、共催講座情報提供	11名
10月22日(金) 浅間台地域ケアプラザ	・自主事業／貸室のコロナ対応について ・合同事業／研修企画について	8名
11月26日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・西区子育て支援拠点「スマイル・ポート」と情報共有 ・自主事業／貸室のコロナ対応について ・合同事業「ケアぷらっとウォーキング」について ・ヤングケアラー講座について	9名
12月4日(土) 桜木町～市庁舎周辺	ケアぷらっとウォーキング 桜木町～新市庁舎～北仲エリア をシティガイドと廻る 一般参加者12名ほかスタッフ6名	6名
12月24日(金) 藤棚地域ケアプラザ	・サブコ研修／職員研修企画について ・「にしくスタイル」出店について ・ケアぷらっとウォーキングふりかえり ・にこまちプラン策定について	7名
1月20日(木)	「にしくスタイル」出店 各ケアプラザで活動するボランティア団体の手作り手工芸品等のバザー販売 と 赤い羽根共同募金	5名

1月28日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・サブコーディネーター研修／職員研修について ・「にしくスタイル」出店ふりかえり ・第4期にこまちプランについて ・地区支援研修ふりかえり	7名
2月25日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	・職員研修「ヤングケアラーについて」 ・第4期にこまちプランについて ・ボランティア保険情報提供 ・次年度の地域活動交流連絡会のあり方について	8名
3月25日(木) 西区役所	・次年度事業について ・第4期にこまちプラン配布物について ・ふれあい福祉推進事業(ふれあい会)について	7名

②地域ケアプラザ サブコーディネーター研修

地域活動交流部門のスキルアップと、区内地域ケアプラザ間の連携や交流を目的に企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ延期となりました。

③区看護職連絡会への参加

地域ケアプラザ、区役所看護職と連携して介護予防・健康づくり、社会参加等の取組を進めていくことを目的に、西区看護職連絡会に参加し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。(月1回) *令和3年7月から

④地域ケアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に事務局長が参加しました。(年8回)

Ⅱ ボランティア活動の推進・支援

1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

①ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。

	個人(人)			ボランティアグループ	
	男性	女性	計	グループ数	人数
新規登録者(R3)	22	42	64	10	168
前年度新規登録者	10	27	37	5	138
累計 (R4年3月末現在)	117	167	284	78	1,407

② 単発依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	1	0	0	0	1	0	1	0%	67%
障害	3	2	0	0	1	4	4	67%	93%
高齢	106	96	0	2	7	230	147	91%	86%
外国人	1	1	0	0	0	1	1	100%	-
限定せず	16	16	0	0	0	86	155	100%	75%
その他	2	0	1	0	1	2	5	0%	80%
R3合計	129	115	1	2	10	323	313	89%	86%
R2合計	136	117	4	2	11	199	157	86%	87%
比較増減	△7	△2	△3	0	△1	124	156		

③ 継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	6	2	3	0	0	6	21	33%	50%
障害	14	8	4	1	1	17	57	57%	50%
高齢	12	4	6	0	1	13	65	33%	56%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	1	1	0	0	0	20	28	100%	-
その他	0	0	0	0	0	0	0	-	0%
R3合計	33	15	13	1	2	56	171	45%	47%
R2合計	19	9	6	0	2	21	51	47%	55%
比較増減	14	6	7	1	0	35	120		

(2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方への情報提供のため、会員施設へボランティア受入れ状況等の聞き取りを行いました。

(3) ボランティアセンター情報の発信

ボランティア活動に関する情報をまとめ、提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年2回発行、各40,900部。タウンニュース紙面上に掲載。
西区ボランティア センターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各800部。登録ボランティア及び関係機関、区社協会員に送付。
ホームページ	ホームページ内で、ボランティア募集情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など随時最新情報を掲載しました。

2 ボランティア・市民活動への育成・支援

(1) ボランティア活動者の育成

① ボランティア活動についての啓発

ボランティア活動・地域活動への参加を促すことを目的に企画・実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
7月26日(月) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「障害理解啓発講座」 ・障害児の保護者の講話 ・疑似体験 ・災害時に障害のある方と一緒に過ごすための工夫	20名
7月28日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「ボランティア入門講座」 ・ボランティアの心構え ・ボランティア保険の基礎知識 ・車いすの操作や利用者の理解など	15名
11月10日(水) 11月17日(水) 11月24日(水) 藤棚地域ケアプラザ	「暮らしのお役立ちボランティア講座」 (協力:藤棚地域ケアプラザ) 第1回 包丁研ぎ 第2回 庭木剪定(座学) 第3回 庭木剪定(実技) ※定年後の男性が、地域での仲間づくりやボランティア活動(地域貢献活動)へつながるきっかけづくりとして、例年開催する『ハマのオヤジゼミナール』事業と兼ねて企画しました。	11名
11月18日(木) 12月7日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	気持ちの良い街づくり「ゴミ拾いボランティア」 福祉保健活動拠点「フクシア」周辺の清掃活動	27名
12月15日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	聴覚障害理解啓発講座 「共に生きるとはどういうことなのか」 ※開催予定だった「手話入門講座」が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、共生社会の理解を目的として実施しました。	22名
6月16日(水) 9月29日(水) 12月15日(水) 3月2日(水)	ボランティアセンター情報紙「花スイセン」発送作業	18名

(2) ボランティア活動者の育成

① ボランティア活動保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険について案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア活動 行専用保険	福祉サービス総合補償
R3年度(件数)	72 (うち天災プラン10)	186	7
R2年度(件数)	72 (うち天災プラン12)	123	6
比較増△減	0	63	1

(3) フードドライブ活動(食料支援)の推進

各家庭にある使い切れない未使用食品について、食品を必要としている団体にお渡しする「フードドライブ」活動を実施しました。

寄附受付期間	寄付件数	配分団体数	主な配分先
第1回: 7月1日~7月15日	30件(643点)	12団体	高齢者食事会、こども食堂、多世代交流サロン、認知症カフェ、青少年支援施設、生活困窮世帯支援団体等
第2回: 12月1日~12月15日	25件(1,043点)	19団体	
第3回: 3月1日~3月15日	30件(1,642点)	18団体	
合計	85件(3,328点)	49団体	

※令和2年度より、資源循環局西事務所のフードロス活動と連携して実施しました。

(4) ボランティアセンター機能の強化

①職員のスキルアップ

各種研修や勉強会に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

②ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄附金品の受付・配分等を審議するため、ボランティアセンター運営委員会を2回開催いたしました。(詳細はP32参照)

(5) ボランティア・市民活動分科会の定例開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供等を行うために、コロナ禍の情勢を見ながら開催しました。(詳細はP31参照)

(6) 善意銀行の運営

区内の団体や個人の方からの寄附金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

内容	件数	合計
金銭寄付	12件	176,455円
物品寄付	15件	子ども用車椅子、トレーラーフィギュア、マスク、消毒用品、おもちゃ、生理用品、カレンダー他

(詳細はP39別表5を参照)

② 配分

内容	件数	合計
金銭配分	5件	・横浜MM21ロータリークラブ配分金 @25,000×4団体=100,000 ・福祉教育助成金 @10,000×1件=10,000
物品配分	66件	・福祉関係施設、ボランティアグループ、当事者団体等へ配分

3 ボランティア・市民活動への財政支援

(1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、西区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
要援護者支援区分（集いの場活動）	20件	2,012,000円
要援護者支援区分（家事・生活支援活動）	1件	160,000円
要援護者支援区分（配食活動）	1件	80,000円
要援護者支援区分（送迎活動）	1件	200,000円
障害児者支援区分（当事者活動）	4件	330,000円
障害児者支援区分（宿泊・日帰りハイク活動）	1件	50,000円
障害児者支援区分（視覚聴覚障害者支援活動）	1件	50,000円
福祉のまちづくり区分	10件	360,000円
合 計	39件	3,242,000円

（詳細はP35別表1を参照）

(2) 西区社協会員助成金

区社協正会員が行う地域福祉活動及び地域における公益的な取組に対して助成金として配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
地域福祉・地域貢献事業助成	2件	126,000円
福祉啓発・普及活動助成	1件	87,000円
活動拠点整備事業助成	1件	151,000円
合 計	4件	364,000円

（詳細はP36別表2を参照）

(3) 年末たすけあい募金の配分

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	10件	765,000円

（詳細はP37別表3を参照）

(4) にこまち助成金の配分

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

配分については、にこまち助成金審査委員会にて審議し決定しています。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	8団体	<申請金額5万円以下>: 5団体	175,000円
		<申請金額5万円を超える>: 3団体	703,000円
B区分 (サービスづくり)	4団体	<申請金額5万円以下>: 1団体	50,000円
		<申請金額5万円を超える>: 3団体	614,000円
C区分 (人づくり)	0団体	<申請金額5万円以下>: —	—
		<申請金額5万円を超える>: —	—
合計	12団体		1,542,000円

(詳細はP38別表4を参照)

Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進

1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

(1) 災害ボランティア活動者の育成

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行いました。

<定例会等の開催協力>

月日	内容	参加人数
4月24日(土)	定例会	8名
5月29日(土)	総会 ※賛成多数で可決	17名
6月19日(土)	定例会	7名
7月17日(土)	定例会	9名
8月28日(土)	定例会	7名
9月18日(土)	定例会・市民防災センター見学会	台風のため中止
10月17日(土)	まち歩き	7名
11月11日(木)	県立横浜平沼高等学校 地域貢献デーへの協力「防災学習」	5名
11月20日(土)	定例会	5名
12月19日(土)	定例会	6名
1月15日(土)	定例会	4名
2月26日(土)	定例会	8名
3月19日(土)	講座「西区の防災を知ろう！」 講師: 陣野 洋平氏(西区危機管理・地域防災担当係長)	19名

Ⅳ 福祉啓発・福祉教育の推進

1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 企業の地域貢献活動の支援

地域貢献活動を希望する企業からの相談を受け、区、地域ケアプラザと共に対応しました。企業側の活動提案と、区社協からは地域のニーズを伝え、今後の取組について検討を進めました。

(2) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行い協力しました。

月日	依頼者	内容	延べ参加者数
11月11日(木)	神奈川県立横浜平沼高校	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	約70名
12月3日(金)	横浜国立大学岡野中学校	福祉学習(聴覚障害理解)	約100名
12月6日(月)	浅間台小学校5・6年生	福祉学習 (認知症サポーター養成講座)	約100名
12月9日(木)	浅間台小学校3・4年生	福祉学習(共生社会)	約120名

(3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際の車椅子等の備品を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を年間を通して委託しました。

(件数)

機材名	車椅子	高齢者疑似体験セット	妊婦体験セット	アイマスク	白杖	点字器	ユニバーサルデザイングッズ
R3年度	33	1	1	2	2	3	1
R2年度	29	1	1	5	3	1	2

(4) 社会福祉士相談援助実習の実習生の受入

福祉分野で活躍する人材育成を目的に、社会福祉士資格取得を目指す実習生を受け入れ対応しました。

実習期間：9月10日～10月28日

実習時間：180時間(市社協での実習7.5時間含む)

実習生：関東学院大学3年生、帝京平成大学3年生 計2名

Ⅴ 総合相談

1 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

1) 件数

		高齢者			障害者			その他 不明	合計
		認知症	その他		身体	知的	精神		
R3年度	30	5	25	14	4	6	4	0	44
R2年度	29	5	24	19	11	2	6	4	52

2) 内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・財産 関係等預かり	今後の生活設計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との 関係	財産侵害	日常生活上の 問題	隣人知人との 関係	福祉サービス 利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
R3年度	42	0	1	0	0	1	1	0	0	0	6	2	53
R2年度	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	55

② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

1) 契約件数

	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
定期訪問・金銭管理サービス	36	35	8	9	7	11
高齢者	27	26	7	8	6	11
障害者	9	9	1	1	1	0
財産関係書類等預かりサービス	3	4	0	1	0	1
高齢者	2	3	0	1	0	1
障害者	1	1	0	0	0	0

※ 終了理由：【R3年度】死亡:4、施設入所:3
 【R2年度】死亡:6、成年後見:3、施設入所:1、本人申出:1

2) 相談等延べ件数

		R3年度	R2年度	比較増減
契約前対応 (電話・訪問他)	電話	394	221	173
	来所	0	2	△2
	訪問	16	18	△2
	手続き援助等	8	9	△1
	合計	418	250	168

契約者対応 (電話・訪問・各種手続き他)	電話	2,473	2,421	52
	来所	7	20	△13
	訪問	533	583	△50
	手続き援助等	272	224	48
	合計	3,285	3,248	37
終了後対応	電話	28	24	4
	来所	1	0	1
	訪問	1	2	△1
	手続き援助等	1	6	△5
	合計	31	32	△1

③ 広報・啓発活動

1) 講座の開催

区役所・区社会福祉協議会、区内4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、「西区版エンディングノート」を使用し成年後見制度をテーマに講座を開催しました。今年度は密にならず、より多くの人に参加いただけるよう、オンラインによるサテライト会場での開催も実施しました。

月日・場所	内 容	人数
9月27日(月) 西区役所3AB 会議室 【サテライト会場】 戸部本町地域ケアプラザ 浅間台地域ケアプラザ	エンディングノートと成年後見制度について 等 対象者:西区在住・在勤の方	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止
12月16日(木) 宮崎地域ケアプラザ 【サテライト会場】 藤棚地域ケアプラザ	医療についての希望 等 対象者:西区在住・在勤の方	宮崎地域ケアプラザ 15名 【サテライト会場】 藤棚地域ケアプラザ 9名
2月28日(月) 戸部本町地域ケアプラザ 【サテライト会場】 宮崎地域ケアプラザ	遺言・相続について 等 対象者:西区在住・在勤の方	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

1) 社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

2) 成年後見サポートネット全体会、専門職会議への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に1回、専門職会議に2回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

- 3) 区内事業者 新人ケアマネジャー向け研修への参加
 区内の事業所の新任ケアマネジャー向けに、あんしんセンター利用の手続きや連携方法について説明する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催は中止し、リーフレットを配布しました。
- 4) ケース検討会等の実施・参加
 契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

(2) 市民後見人候補者、受任者への支援

①市民後見人候補者の支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指し、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

②サポートネット分科会

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深める目的でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

2 生活困窮者等支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

【生活福祉資金】 低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯等に対して、資金の貸付と必要な援助を行い、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として実施しました。

【総合支援資金】 失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の再建のために継続的な相談支援と生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

R2年度から引き続き、新型コロナウイルスの影響による収入減少や失業等により困窮し日常生活の維持が困難となった世帯を対象として、緊急小口資金および総合支援資金(生活支援費)の〈特例貸付〉を実施しました。

① 貸付件数

新規相談 資金項目	貸付決定件数
総合支援資金	0
臨時特例資金	0
緊急小口資金	1
福祉資金(教育支援資金含む)	3
不動産担保(要保護含む)	0
生活福祉資金以外の制度	-
合計	4

〈新型コロナ 特例貸付〉

新規相談 資金項目	相談件数	申請受付件数
緊急小口資金 〈特例〉	1,382	延べ 388
総合支援資金 〈特例〉		延べ 799
合計	1,382	1,187

② 相談件数 ※ 特例貸付(新規)除く

相談項目 資金項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計
	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	
総合支援資金	1	272	157	90	281	362	15	108	407	1693
臨時特例資金	0	3	5	2	8	3	0	0	7	28
緊急小口資金	0	84	82	29	178	178	14	74	301	940
福祉資金(教育 支援資金含む)	4	159	62	19	67	145	5	46	248	755
不動産担保 (要保護含む)	1	3	1	1	7	1	0	0	7	21
生活福祉資金 以外の制度	21	224	167	/	/	/	/	/	/	/
R3年度合計	27	745	474	141	541	689	34	228	970	3,849
R2年度合計	35	193	60	18	131	164	3	63	390	1,057
比較増△減	△8	552	414	123	410	525	31	165	580	2,792

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への償還残高を確認する書類を配付しました。

生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを確認、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、事務移管等の手続きを行いました。

内 容	件 数
住所不明調査 (あて先不明で返送されてきた 借受者等)	5件

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課との情報交換等

総合支援資金(特例)貸付申請にかかる「自立相談支援機関相談票」の受け渡し時に、申請希望者の状況や制度の変遷への対応等について随時、情報共有を行なってきました。

(4) 食料支援

区役所や個人から支援要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、窓口にて食料の提供もしくは食糧支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
フードバンクかながわ	26件

VI 福祉ニーズのある方への支援

1 子育て支援

(1) 児童福祉関係分科会の開催

児童関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を開催しました。今年度は第4期地域福祉保健計画(にこまちプラン)の策定、コロナ禍の中でのそれぞれの課題や工夫、食支援などについて情報共有・意見交換を行いました。(詳細はP30参照)

(2) 子どもの居場所情報交換会の開催

子ども支援に携わる施設職員、地域の活動者、区役所、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、居場所情報交換会の企画を行いました。

(3) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」の活動に対し活動費を助成しました(財源:共同募金配分金)。

地区社協名	金額
第二地区社協	30,000円
第六地区社協	60,000円
合計	90,000円

2 障害児・者支援

(1) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内容
担当者会議	全参加施設の担当者の集まり
防災会議	災害時対応についての検討・施設見学等(オンライン開催)

(2) 障害者福祉関係分科会の開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮しながら、障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を開催し、コロナ禍における工夫や課題など、それぞれの対応状況を情報共有・意見交換を行いました。(詳細はP30参照)

3 高齢者支援

(1) 高齢者福祉関係分科会の開催

高齢者関係団体・施設を中心とした分科会を開催し、コロナ禍における工夫や課題など、それぞれの対応状況を情報共有・意見交換を行いました。(詳細はP30参照)

(2) 関係機関との連携

①見守り活動状況ヒアリング

自治会・町内会エリアにおける見守り活動に関するヒアリングに参加し、活動状況について情報交換を行いました。

参加者: 地域ケアプラザ、区役所、区社協

②西区シニアクラブとの情報交換会

各クラブの活動状況の共有および連携強化を目的に、地区ごとの情報交換会を開催しました。(計5回)

参加者：1層及び2層生活支援コーディネーター、区社協地区担当職員、西区シニアクラブ連合会事務局

(3) ふれあい会に対する支援

①「西区ふれあい福祉推進事業」の業務受託

西区役所から業務を受託し、ふれあい会(高齢者等見守り活動)の申請・報告(年2回)の受付、相談対応、並びに見守り活動アンケートの実施を行いました。また、情報交換・研修会を地区ごとに開催しました。

ア) 報告・申請書類の受付について

報告・申請書類の 受付	令和2年度下半期報告	52団体(4月)
	令和3年度申請	52団体(4月)
	令和3年度上半期報告	52団体(10月)
	相談対応(相談報告書作成数)	40件(年間)

イ) 事務説明会

次年度申請に関する説明会を例年3月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合型から書類送付による説明に変更し実施しました。

ウ) ふれあい会情報交換・研修会の実施

新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、ふれあい会担い手を中心に地区ごとに開催しました。

主催:区社協・区役所 / 協力:区内4地域ケアプラザ

地区名・会場	開催日	内容	参加者			
			地域住民	ケア プラザ 地域	区役所	区社協
第一地区 宮崎地域ケアプラザ	11月24日(水)	1. ふれあい会の活動 について 2. 困った時の相談先 3. 事例紹介 4. 情報交換会	14	7	2	3
第二地区 戸部本町地域ケアプラザ	12月10日(金)		17	7	3	3
第三地区 藤棚地域ケアプラザ	11月29日(月)		11	3	3	3
第四地区 4地区会館	12月6日(月)		21	5	2	3
第五地区 戸部本町地域ケアプラザ	12月13日(月)		12	11	3	3
第六地区 西スポーツセンター	12月9日(木)		21	5	3	3
計6回			96	38	16	18

*地域住民:ふれあい福祉推進事業実施団体 91 名(48 団体)、他地域活動者(非構成地区含む)5 名

② 見守り活動アンケートの実施

コロナ禍での見守り活動の課題と各団体の工夫などを把握するため、令和3年度上半期の活動報告受付時に各ふれあい会にアンケート調査を実施。アンケート結果等を基に作成した Q&Aを事務説明会(コロナ感染拡大防止のため書面にて開催)時に各団体に報告しました。

4 移送サービス事業

送迎ボランティアの協力により、通常の交通手段では外出が困難な在宅高齢者や障害者の方を対象に送迎用福祉車両による送迎サービスを実施しました。横浜市の委託事業として介護保険対象者の通院等を目的とした「外出支援サービス」とそれ以外の方を対象とした区社協の送迎サービスの2本立てで実施しました。

※道路運送法第79条6及び同法施行規則第51条の10の規程に基づいた登録団体として実施

【登録番号】 関神福第126号

(1) 利用状況及び登録者

①利用内容

(件数)

利用内容	外出支援	区社協送迎	総数
R3年度 医療(通院等)	36	2	38
R3年度 福祉サービス利用 他	0	0	0
R3年度 合計	36	2	38
R2年度 実績	14	12	26
比較増△減	22	△10	12

②新規利用登録者

(人数)

新規利用登録	外出支援	区社協送迎	総数
R3年度登録者	0	0	0
R2年度登録者	0	0	0
比較増△減	0	0	0

※福祉有償運送において、R3年度から対象者を高齢者は要介護3以上で車椅子を常時使用している人に限定。難病患者においては、11月まで新規受け入れを停止しました。

(2) 送迎ボランティア育成・支援

① 送迎ボランティア登録者数

年度	人数
R3年度登録者	3
R2年度登録者	3
比較増△減	0

② 送迎ボランティアミーティングの開催

送迎サービスの運転ボランティアを対象に情報提供・情報交換のためのミーティングを実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
3月30日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・今後の外出支援サービスについて ・ガイドボランティア、ボランティアセンターへの登録について ・情報交換 他	2名

③ 研修

西区社会福祉協議会で外部講師による「安全運転研修会」を開催し、ボランティアの方が参加しました。

月日・場所	内 容	参加人数
9月 2日(木) 9月16日(木) 9月28日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・研修内容説明 ・実車同乗研修 ・実車運転総評 他	3名

5 小災害見舞等への支援

(1) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協が給付しました。

給付件数		内 容	金額
R3年度	16件	旅費16件	5,570円
R2年度	27件	旅費27件	9,680円
比較増△減			△4,110円

(2) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(台風、火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金額
3月6日(土) ※11月に申請	火災 1件	15,000円
7月22日(木)	火災 1件	10,000円
10月29日(金)	火災 1件	10,000円
1月28日(金)	火災 1件	15,000円
2月7日(月)	火災 1件	15,000円
R3年度 合計	火災 5件	65,000円
R2年度 合計	火災 9件、死亡 1件	50,000円

6 移動情報センター

障害のある方やご家族、支援者等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、ガイドボランティア事業として、移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取り組みを行いました。その他、広報紙やホームページ等を活用した移動情報センターの周知、サービス事業者等の移動支援に関する情報の収集・更新に努めました。

※横浜市より業務委託を受け、平成30年1月から「西区移動情報センター」を開設しています。

(1) 相談対応・コーディネート 相談件数:36件

①障害種別:

身体	知的	精神	その他
10件	17件	6件	3件

②相談内容:

通院等必要 不可欠な外出	余暇等社会参加 のための外出	通学	通所	制度説明	その他
8件	5件	10件	10件	0件	3件

③調整件数:842件

電話	メール、FAX等	来所	訪問	フォローアップ
790件	4件	32件	16件	102件

(2) 移動情報センター推進会議の開催

月日	内容	人数
7月8日(木)	・相談実績・対応状況について ・令和3年度西区移動情報センターの事業計画について	10人
10月27日(水)	・西区移動情報センターの相談受付状況 ・令和3年度西区移動情報センターの事業計画の状況報告について	13人
3月3日(木)	・西区移動情報センターの相談受付状況 ・令和3年度西区移動情報センター事業の状況報告について ・令和4年度西区移動情報センターの事業計画について	10人

(3) 横浜市ガイドボランティアの養成・コーディネート

ボランティアによる付添い依頼の相談に対して、ガイドボランティアだけでなくボランティアセンターと連携して調整を行いました。また、相談者の近隣地域にて自治会町内会や民生委員へ相談するなど、新規ボランティア募集を図りました。コーディネートにおいて、ガイドボランティアと支援対象者との初回顔合わせや初回活動へ同行、活動後の状況確認など、ガイドボランティアが安心して活動ができるよう定着に向けた支援を行いました。

①登録者数:

支援対象者	ガイドボランティア
21名	29名

②活動状況：【通学】62件 【通所】130件 【一般】115件 【余暇】0件

※上記活動状況に含まれない件数として、以下の活動あり

- 西区の支援対象者に対する他区のガイドボランティア登録者による活動
- 西区のガイドボランティア登録者によるガイドボランティア事業対象外のボランティア活動

③養成講座の開催

地域における移動支援に関わる人材の育成・確保のため、地域ケアプラザを会場にボランティアの発掘および活動者のスキルアップを目的とした、「ガイドボランティア養成講座」を開催しました。

月日	内容	参加人数
1月27日(木) 宮崎地域ケアプラザ	「障がい理解を深めよう ガイドボランティア講座」 ・知的障がい・発達障がい児への関わりかた 講師: 佐藤克也 氏 (横浜市中部地域療育センター) ・ガイドボランティア活動者による経験談	8人



VII 福祉情報発信機能の充実

1 広報紙の発行・ホームページの活用

(1) 広報紙「もくせい」の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年2回発行しました。

【配布方法】

- 1) 主要新聞7紙折り込みにて各戸へお届け
- 2) タウンニュース社より西区内施設等に配布・配架
- 3) 西区社協より西区社協会員、区内施設等に配布・配架依頼
- 4) 西区社協より賛助会員、善意銀行寄付者・団体に配布 *No.83号のみ



発行月	内容	発行部数
8月 (第82号)	○社会福祉協議会・事業紹介 ○賛助会員の募集 ○社協からのお知らせ(各種講座・イベント情報等) ○その他: 令和2年度事業報告・決算の二次元コード掲載	40,900部
3月 (第83号)	○地区社協の活動紹介(コロナ禍での工夫した取組 *全6地区) ○社協からのお知らせ(助成金案内、コーディネーター募集) ○その他: 賛助会員・善意銀行、赤い羽根共同募金のお礼	40,900部

(2) ホームページ等の活用

区社協PRやボランティア講座等の周知などホームページやフェイスブックページを随時更新しました。

西区社協ホームページ(http://www.yoko-nishishakyo.jp/)	
西区社協フェイスブック(https://www.facebook.com/yokonishisya)	
R3年度更新回数	61回
R2年度更新回数	40回

Ⅷ 西区地域福祉保健計画の推進 (重点項目)

1 第3期西区地域福祉保健計画の推進と第4期計画の策定

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」を一体的に策定しています。

令和3年度は「第3期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン (略称 にこまちプラン))」の取組推進を継続しつつ、「第4期計画」の策定に向けて、区役所・地域ケアプラザとともに地区支援チームの一員として計画を推進・支援しました。

(1) にこまち助成金の配分 (再掲)

横浜市に寄附された約1億円を財源に平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	8団体	<申請金額5万円以下>:	5団体 175,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 703,000円
B区分 (サービスづくり)	4団体	<申請金額5万円以下>:	1団体 50,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 614,000円
C区分 (人づくり)	0団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	— —
合計	12団体	1,542,000円	

(詳細はP38別表4を参照)

(2) にこまちプラン推進のための事業展開

高齢者支援、障害児者支援、子育て支援などの「にこまちプラン全体計画」にかかる課題解決に向けて、具体的な取り組みを行いました。

【高齢分野】

「ハマのオヤジゼミナール」の開催

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして講座を行いました。

日付・会場	内 容	参加人数
11月10日(水) 11月17日(水) 11月24日(水) 藤棚地域ケアプラザ	「暮らしのお役立ちボランティア講座」 第1回 包丁研ぎ 第2回 庭木剪定(座学) 第3回 庭木剪定(実技)	各11名

【障害分野】

「出会いの場づくり事業」実施に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、出会いの場づくり事業自体の実施はできませんでしたが、今後の開催方法の検討として、障害福祉関係分科会の場において、各団体がコロナ禍でも取り組まれていることを共有しました。

【子ども分野】

「子どもの居場所情報交換会」の開催

子ども支援に携わる施設職員、地域の活動者、区役所、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換を行いました。

日付・会場	内容	参加人数
3月8日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	コロナ禍における「子ども食堂」の取組みの工夫と 情報交換	12名

(3) にこまち講座の開催(区との共催)

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向け、10月に「地域共生社会」についての理解啓発を趣旨とした講座を実施しました。(再掲)

月日・場所	内容	開催方法
10月13日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 区役所 生活創造空間にし	【講演会】 基調講演:「地域共生社会の実現に向けて」 講師: 原田 正樹 氏 (日本福祉大学 教授)	3会場にて オンライン 配信

(4) にこまちフォーラム

例年、西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向けて、基調講演と地域の取組の発表会を西区役所・地域ケアプラザと共催でにこまちフォーラムを開催しています。令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点および、第4期計画の完成を待つ形で次年度へ延期となりました。

また、延期となったにこまちフォーラムに替わる企画として、コロナ禍における地域活動の再構築をテーマにした勉強会「にこまちセミナー」を計画しましたが、新型コロナに伴う「まん延防止等重点措置」により、中止となりました。

2 地区支援チームへの参画

区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チームでの打合せや各地区のにこまちプラン地区別計画の推進取組土業や策定にかかる検討に対しての支援を行いました。

3 第4期西区地域福祉保健計画策定に向けた検討

第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)策定のために、区役所所管課と協働して、定例の打合せ会議や第4期計画策定の検討作業を行いました。

月 日 ・ 内 容

■第4期計画策定に向けた検討

第4期計画の策定検討のために、地域活動団体や福祉保健活動団体の代表者で構成される「西区地域福祉保健計画推進評価委員会」を開催しました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議)

第1回: 8月6日(金) 第2回: 1月21日(金)

■区民意見募集の実施

第4期にこまちプランの策定作業に反映させることを目的に、素案に対しての意見募集を行いました。

実施期間: 10月11日～11月10日

実施方法: 区内各公共施設での配布および回収箱設置、ほか、FAX・Eメールにて募集
(区社協の各分科会においても素案への意見収集を行いました)

■定例打合せ

愛知東邦大学の西尾敦史教授を、《こまちプラン策定アドバイザー》に迎えて、第4期計画策定の過程について協議を行いました。

第1回:6月28日(月) 第2回:12月2日(木) 第3回:1月21日(金)

IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営

1 拠点の管理・運営

指定管理者として、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に快適に利用いただけるよう運営を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言等が発令された際には各団体への通知やホームページでの周知を通じて速やかに情報発信を行いました。

また、第4期の指定管理者へ応募し、選考の結果、引き続き管理運営の受託を任されることになりました。

(1) 登録状況

① 利用登録団体 243団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他 (地域団体、福祉保健職域団体)
101団体	49団体	93団体

*メールボックス使用団体：24団体(24個中)

*ロッカー使用団体：48団体(53個中)

(2) 利用状況※新型コロナウイルス感染拡大防止のため R3.4.20～R3.9.30 は 20 時閉館

部屋名	利用件数・利用率				比較増減
	R3年度		R2年度		
団体交流室	663件	51.5%	460件	42.7%	203
多目的研修室	653件	62.4%	576件	67.0%	77
点字製作室	248件	23.8%	166件	19.6%	82
録音室	133件	12.8%	105件	12.8%	28
対面朗読室・編集室	366件	35.2%	277件	31.0%	89
全 体	2,063件	37.1%	1,584件	35.5%	479

(3) 利用調整会議

新型コロナウイルス拡大防止の観点から利用調整会議は対面ではなく書面での実施となりました。またロッカー・メールボックスの抽選については集合型ではなく非公開形式で実施しました。各団体へアンケートを実施し、部屋の予約方法についてご意見をいただきました。いただいた意見をもとに今後の利用方法を検討してまいります。

月日・場所	内 容	参加数
2月7日(月) 西区福祉保健活動拠点	・事務局からの連絡(拠点利用方法の確認等) ・登録団体の紹介・交流会 ・ロッカー・メールボックスの抽選	コロナウイルス感染拡大の観点から中止

(4) ご意見箱の設置

団体交流室に市社協のシステムである「ご意見箱」を設置し、いただいたご意見を運営改善に反映しています。

(5) 個別専門相談「よこはま LGBT 相談」の共同開催

横浜市民局人権課及び特定非営利活動法人 SHIP と連携した相談会を定期的にも実施、性的少数者支援を行いました。 相談日：毎月1回(月曜日夜間)

(6) ひとり親世帯対象「学習支援事業」の共催

横浜市社会福祉協議会の「ヨコ寄付」推進事業と連携し、ひとり親世帯の高等教育進学に向けた学習支援を行いました。 実施日：毎週1回(木曜日夜間)

2 ボランティア等の地域福祉保健活動に関する相談及び育成

福祉保健活動拠点の利用団体に対して、ボランティアに関する相談(活動先の紹介、ボランティア保険の案内など)やボランティア講座の案内、助成金制度の案内等を通じて活動の発展・啓発を図りました。

また、フードドライブや善意銀行への寄付物品について、活動の一助としてもらうため、必要とする団体に適宜アナウンス・配分しました。

X 法人運営 (重点項目)

1 事業推進体制の充実

(1) 会員

① 正会員

社会福祉施設	33
民生委員児童委員	127
地区社会福祉協議会	6
地区連合自治会・町内会	6
自治会町内会	93
障害者団体等当事者団体	13
ボランティア・市民活動団体	17
社会福祉関係団体	19
行政機関	4
学識経験者	1

② 賛助会員

法人・団体	41
個人	82
賛助会員合計	123
賛助会費合計②	法人・団体 275,000円 個人 201,000円 = 476,000円

正会員合計	319
正会員会費合計①	1,045,500円

会費合計	① +② 1,521,500円
------	-----------------

② 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。

入会団体：1団体

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 分科会

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。(年8回開催) ※緊急事態宣言の期間は開催を中止しました

月日	主な議題	結果	人数
4月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度西区社協事業について ・地区社協助成金 R2年度報告・R3年度申請について ・小地域活動応援金について ・令和3年度賛助会費について 他 	全て承認された	27名
6月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所「&COCO」開所の案内について ・地域発信研修(チームにしまる)について ・各地区社協事業計画の区社協ホームページへの掲載について 他 		27名
7月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修、講座等の依頼・案内について ・令和3年度共同募金運動について ・高齢者見守り活動にかかる広報物について 他 		25名
9月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「命のことづけ」上映会 ・「第4期にこまちプラン 区全体計画」について ・共同募金運動について ・各種講座等について 他 		28名
10月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度地区社協助成金について ・令和3年度年末たすけあい助成金について ・「地区社協の役割について考える」 ・社会福祉実習生の発表 他 		27名
12月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・年末たすけあい募金配分金について ・地区社協カレンダーについて ・地区社協助成金について ・西区社会福祉功労者表彰式について ・「ハマでうわさの西区民」について 他 		25名

2月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員等候補者の推薦について ・次年度地区社協分科会・研修会等の計画案について ・令和3年度地区社協ヒアリングについて ・令和4年度地区社協助成金について ・各地区社協事業の広報掲載について 他 		23名
3月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度地区社協分科会・研修会、助成金等について ・次年度西区社協事業計画について ・地区社協助成金申請・報告について 他 		24名

※場所は、3月は西公会堂 会議室
そのほかは、すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
9月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度高齢者福祉関係分科会について ・第4期地域福祉保健計画について ・情報交換・意見交換 	全て承認された	25名
3月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度高齢福祉関係分科会の取組について ・情報交換・意見交換 	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
9月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度障害福祉分科会の振り返りについて ・第4期地域福祉保健計画(にこまちプラン)について ・食支援について ・コロナ禍における障害者支援の取組について 	全て承認された	24名 (20団体)
3月7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の取組について ・情報交換・意見交換 	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【児童福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
9月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期地域福祉保健計画(にこまちプラン)について ・西区社協における食支援について ・西区子どもの居場所マップについて 他 	全て承認された	14名
3月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度児童福祉関係分科会について ・情報交換・意見交換 他 	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【ボランティア・市民活動分科会】

月日	議 題	結果	人数
5月7日(金)	・本年度分科会長、副分科会長の選出について ・理事・評議員候補者の推薦について ・各種委員会委員の選任について ・横浜市社協 福祉ボランティア・市民活動部会委員の推薦について ・区社協 令和3年度事業計画について ・コロナ禍での活動状況について情報交換	全て承認された	9名
7月26日(月)	・障害理解研修 ・情報交換		20名
10月25日(月)	・第4期地域福祉保健計画(にこまちプラン)について ・西区社協における食支援について ・情報交換		21名
2月28日(月)	・次年度の取組について ・情報交換・意見交換	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月日	議 題	結果	人数
11月30日(火)	第40回西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	全て承認された	9名

【助成金等審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
5月24日(月)	・令和2年度西区社協ふれあい助成金配分結果について ・令和2年度西区社協会員助成金配分結果 ・令和3年度西区社協ふれあい助成金交付審査について ・令和3年度西区社協会員助成金交付審査について	全て承認された	8名
11月15日(月)	・令和3年度第1回助成金等審査委員会 報告について ・令和3年度年末たすけあい募金助成の審査について ・令和3年度年末たすけあい募金 地区社協助成について	全て承認された	5名

【にこまち助成金審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
6月24日(木)	・前年度の助成実績について ・令和3年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ・第4期「にこまちプラン」策定状況とにこまち助成金について	全て承認された	6名

11月5日(金)	・令和3年度第3回受付分の審査について ・令和4年度にこまち助成金予定について ～様式/周知チラシ(案)に対する検討～	全て承認された	6名
3月24日(木)	・令和3年度事業にかかる申請について ・令和4年度事業 第1回受付分の審査について	一部否決あり	5名

【ボランティアセンター運営委員会】

月日	議 題	結果	人数
9月29日(水)	・委員長・副委員長の選任 ・令和2年度ボランティアセンター事業報告について ・令和3年度上半期ボランティアセンター事業報告について ・善意銀行配分金について ・令和3年度下半期ボランティアセンター事業予定について	全て承認された	9名
3月11日(金)	・令和4年度ボランティアセンター事業計画(案)について ・令和3年度善意銀行配分について ・令和4年度ボランティアセンター運営委員会について		7名

【評議員選任・解任委員会】

月日	議 題	結果	人数
第1回 6月16日(水)	評議員候補者(20名)の選任について	全て承認された	3名
第2回 10月6日(水)	評議員候補者(2名)の選任について	全て承認された	4名
第3回 3月14日(月)	評議員候補者(2名)の選任について	全て承認された	3名

2 理事会・評議員会等

(1) 理事会・評議員会・監事会

① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人数・結果
第1回 6月8日(火)	1. 令和2年度事業報告並びに決算について 2. 監事監査報告について 3. 監事候補者の評議員会への推薦について 4. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに評議員選任候補者の推薦について 5. 評議員選任 解任委員の選任について 6. 定時評議員会の招集並びに議題について 7. 顧問について	理事 9名 監事 2名

第2回 6月23日(水)	1. 正副会長の選任について 2. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに評議員選任候補者の推薦について	理事10名 監事 3名
第3回 10月22日(金)	1. 令和3年度補正予算案について 2. 第40回西区社会福祉功労者表彰式について 3. 評議員会の招集並びに議題について	理事11名 監事 3名
第4回 3月8日(火)	1. 会員の入会について 2. 令和3年度補正予算案について 3. 令和4年度事業計画案並びに予算案について 4. 福祉基金設置規程の改正について 5. 評議員選任 解任委員会運営規則の改正について 6. 本会役員等賠償責任保険契約について 7. 評議員選任候補者の推薦 並びに評議員選任 解任委員会の招集について 8. 評議員会の開催 並びに議題について	理事 9名 監事 3名

※開催場所は全て西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人 数
第1回 6月23日(水)	1. 令和2年度事業報告並びに決算について 2. 監事監査報告について 3. 理事・監事の選任について	評議員15名 監事 2名
第2回 11月11日(木)	1. 令和3年度補正予算案について	評議員20名 監事 3名
第3回 3月23日(水)	1. 令和3年度補正予算案について 2. 令和4年度事業計画案並びに予算案について 3. 定款の改正について	評議員13名 監事 3名

※開催場所は全て西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

③ 監事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日・場所	内 容	人 数
5月27日(木) 西区福祉保健活動 拠点「フクシア」	令和2年度事業報告・決算(案)について	監事 2名

3 適切な法人運営

(1) 適切な法人運営

① 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と区社協「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

②情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開に努めています。

R3年度 情報公開請求：0件

③苦情受付

「苦情解決規程」に則り、受付体制を整えています。 R3年度 受付件数：0件

(2) 職員の資質向上等

人材育成計画に基づき、法人内及び外部機関の研修等へ積極的に参加し、能力・資質の向上に努めました。

(3) 区社協活動財源の確保

①区社協事業の見直し

持続可能な組織運営と財政の健全化に向け、収入に見合った事業の見直しを行うとともに、事業費・事務費の経費削減の徹底を図りました。

②区社協活動財源の確保

会費・賛助会費・共同募金・年末たすけあい募金等の自主財源確保に努めるとともに、地域の福祉活動を支援する財源確保に努めました。

3 社会福祉充実計画

平成29年度に策定した社会福祉充実計画に沿って実施しました。

(1) 社会福祉功労者表彰(永年勤続者表彰)

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤及び非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰式典を開催予定でしたが、新型コロナウイルス対応「まん延防止重点措置」期間中のため式典開催は控え、受賞者に表彰状・記念品の贈呈を行いました(郵送)。

月日・場所	内容	人数
2月5日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	※まん延防止重点措置下のため式典の開催は中止 受賞者・地域福祉活動功労者 個人 26名 団体 2団体 ・永年勤続者(常勤) 13名 ・永年勤続者(非常勤) 5名	—

(2) 社会福祉施設等研修会の開催

区内の高齢および障害施設職員等を対象に、職員のためのリフレッシュ法と、オンラインや距離を保ったスペースで出来るレクリエーションプログラムを学べる研修会を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
3月11日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 *オンライン同時配信	「コロナ禍でも楽しめちゃうレクリエーション講座」 1. 瞑想 de リラックスタイム「瞑想と神経」 2. お坊さんが教えるレク10連発 講師：倉岡 弘叔氏(高野山真言宗東漸寺住職)	福祉施設職員7名(4施設) ボランティア関係者4名 区社協職員4名 計15名

X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携及びサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	

